

校区意見交換会



なはセン通信

Vol.122

2026年
10月号

目次

校区意見交換会	P.1
協働大学、センター講座	P.2
なはセン図書について	P.3
ボランティアゆんたく会	P.4

問い合わせ

なは市民活動支援センター

098-861-5024

C-KATU005@city.naha.lg.jp

過去の記事



なはセン通信のアーカイブは
コチラから

「つながる・重なる・楽しくなる」

8月30日(日)に令和8年度校区意見交換会を開催しました。この意見交換会では、「つながる・重なる・楽しくなる(楽になる)」を合言葉に、各校区の活動や課題を共有しながら、互いに学び合い、繋がりを深める場として、那覇市小学校区まちづくり協議会(まち協)の関係者75名が一同に会しました。全体会では、ビジョンづくりや、コミュニティ・スクールを通じた学校・地域・子どもとの連携、多様な人や団体をつなぐ取組の工夫などを共有しました。まち協は、地域のさまざまな人や団体がつながり、話し合い、共に活動を生み出していく場でもあります。これまでの活動を振り返りながら、地域の人がそれぞれの関心や得意なことを持ち

寄り、無理なく、そして、楽しく関わることでできるまち協のあり方について、考える機会となりました。全体会の後は、「仲間づくり」「場づくり」「会計」の3つのテーマに分かれ、分科会を行いました。「仲間づくり」では、地域の多様な人や団体とどのようにつながり、活動の輪を広げていくか。また、「場づくり」では、誰もが気軽に参加でき、話し合いや交流が生まれる場所のようにつくっていくか。そして、「会計」では、活動を支えるお金のことや、無理なく活動が続けていくための工夫について。それぞれの校区での経験や悩みを持ち寄り、意見を交わしました。まち協の活動や地域の状況は校区によって異なりますが、共通する課題もあれば、ほかの校

区の取組から学べることもあります。一つの校区だけで考えるのではなく、校区を越えて知恵や経験を共有することの大切さを、改めて感じる時間となりました。

今回の意見交換会を通して、まち協同士の新たなつながりが生まれました。ほかの校区の仲間とつながり、互いの取組を知ること、これなら自分たちの校区でもできそう」「こんな方法もあるんだ」と、新たな気づきや活動のヒントが見つかり、次の一歩につなげていくことができます。

これからも、校区を越えて学び合い、つながりを深めながら、みんなでまち協をアップデートしていきます。



那覇における防災の取組みを学ぶ

第3回 なは市民協働大学



8月20日(木)に、第3回なは市民協働大学「那覇市における防災の取組み」を開催しました。

前半、那覇市防災危機管理課の仲宗根守章主幹からは、「那覇市防災計画」をもとに、大規模災害の対策について説明がありました。また、市民が関われる防災の形として、「自分のまちは自分たちで守る」という思いのもと立ち上がった自主防災組織の紹介や那覇市が主催した防災に関するイベントなどの紹介があり、受講生も自分たちができることについて関心を寄せていました。

さらに、行政支援として参加された「令和8年熊本震災」について、発災直後の支援の状況を写真を交えて、最先端の情報を提供いただき、発災時に現場がどのような状況になるのかイメージができた時間となりました。

後半は、那覇市消防局の源河北斗副参事の案内で、消防署の施設を見学しました。普段入ることのできない施設の中を見ることができ、受講生も終始、写真を撮ったり興奮している様子が印象的でした。また、那覇市が令和8年度4月から導入した「新・高機能消防指令システム」の見学では、ドラマや映画でしか見たことのない設備を目の当たりにし、受講生からも多くの質問が出ました。施設を見学している最中も、救急車や消防車が出動しており、現場の空気感を肌で感じられる貴重な時間となりました。

また、見学の最後には、旧盆シーズンということもあり、源河副参事から「備えを供える」というキャッチコピーで防災食などをお供え、親戚に防災意識を共有しよう！と締めくくられました。



左：那覇市防災危機管理課 仲宗根 主幹
右：那覇市消防局 源河 副参事

ファシリテーション講座

話し合いを『見える化』するスキル



8月31日(月)に開催されたファシリテーション講座では、会議の内容を分かりやすく記録する方法や参加者の意見を整理するコツを学びました。本講座では、議事録や板書に加え、話し合いの内容を文字や図で表す、ファシリテーショングラフィックについて学びました。キーワードの選び方、囲みや線を用いた情報の整理など、現場で使える実践的なスキルを習得しました。

特に印象的だったのはワークショップです。「もし那覇市上空にUFOが来たら...?」というユニークな設定のもと、参加者はグループに分かれて意見交換しました。宇宙船の停泊場所、地球人代表の挨拶役、地球の料理は何を振る舞う?というお題の下、多彩なアイデアをホワイト

ボードに書き込みながら共有。こうした話し合いを会議や対話の場で「見える化」することの意義と楽しさを体感しました。講師を務めた合同会社みるぶんの石垣さん、狩俣さんからも参加者に対する温かいフィードバックもあり、充実した時間となりました。

次回の第3回講座「場の作り方」は10月26日(月)に開催予定です。

なは市民活動支援センターでは、今後も実務に役立つ講座や相談支援を充実させ、地域の市民活動を力強くサポートしてまいります。最新の開催情報は公式サイトや案内をご確認ください。



図書の貸出サービスあり

書籍名	出版社	発行年
ローカルメディアの仕事術	学芸出版社	2018年4月
ゆるい場を作る人々 サードプレイスを生み出す17のストーリー	学芸出版社	2024年9月
地域が主役の自治体災害対策	学芸出版社	2025年1月
子どもの体験 学びと格差 負の連鎖を断ち切るために	文春新書	2025年4月
PUBLIC HACK 私的に自由にまちをつかう	学芸出版社	2019年9月
「対話と決断」で成果を生む 話し合いの作法	PHP研究所	2022年8月
データで読む地域再生 「強い県・強い市町村」の秘密を探る	日本経済新聞社	2022年10月
はじめまして、子どもの権利条改定版	かもめ本棚	2021年8月
居るのはつらいよ： ケアとセラピーについての覚書	医学書院	2019年8月
子どもを信じること	大隅書籍	2019年4月
子どもを育む環境、蝕む環境	朝日新聞出版社	2018年4月
はずれ者が進化をつくる	ちくまプリマー新書	2020年4月
分かりやすい表現の技術	文響社	2020年1月
今日から使えるワークショップのアイデア	翔泳社	2020年1月
「死にたい」とつぶやく	慶応義塾大学出版社	2023年1月
ないないづくしの里山学校	家の光協会	2019年6月

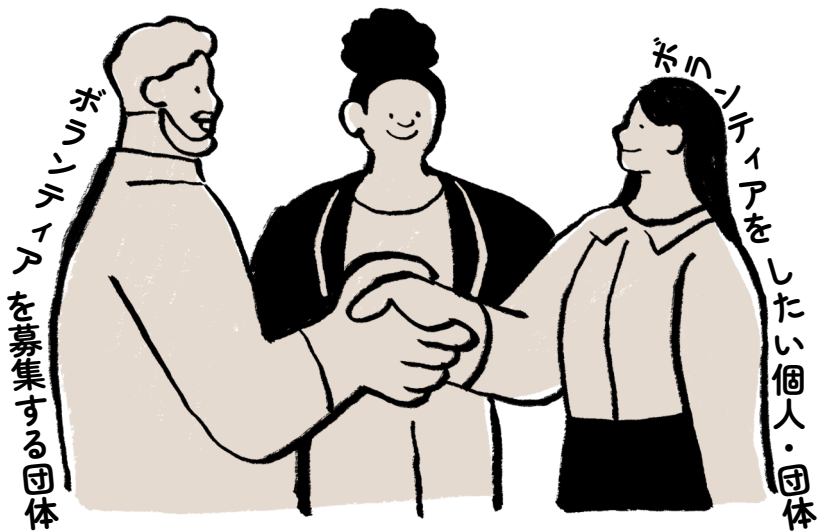
なは市民活動支援センターでは、市民活動に役立つ図書を貸出しております。日ごろの活動の中で困りごと、これからの活動を考えている人にも役立つ一冊に出会えるかもしれません。今月は、なは市民活動支援センター

で借りることができる書籍の一部をご紹介します。一覧以外にも市民活動に関わる雑誌も取り揃えています。ぜひ、ご活用ください！



日ごろの「気になる」を読んで解決？

那覇市でボランティアしませんか？



私たちが那覇市でのボランティア活動をサポートします！

※那覇市では「協働によるまちづくり」をテーマに掲げ、地域社会の課題解決を目的に様々な事業を実践しており、その一環としてボランティアを募集する団体とボランティア活動をしたい個人・団体のマッチングに取り組んでいます。

那覇市ボランティアまっちゃんぐ

那覇市まちづくり協働推進課
なは市民活動支援センターG
ボランティア担当
竹尾・新垣まで



098-861-5024



C-KATU005@city.naha.lg.jp



これまでのマッチング事例 (R8)

- ・こども食堂スマイル (子どもの居場所)
- ・泊クリーンクラブ (崇元寺お掃除)
- ・MIRAIアニメプロジェクト
(アニメワークショップ、子どもの居場所)
- ・ゆいまーの会 (食料支援サポート)
- ・那覇市立 鏡原中学校 (三線指導ボランティア)
- ・城東小学校区まちづくり協議会、真和志小学校区まちづくり協議 (SNS発信ボランティア等)

なは市民活動支援センターについて



◆開館時間、休館日

月・火・木・金	9：00-21：00
水・土・日・祝日	9：00-17：00
休館日	年末年始・慰霊の日

◆駐車場

なは市民協働プラザ地下駐車場（駐車台数：39台）
メカルパーキング（駐車台数：70台）
※なは市民活動支援センターをご利用の場合、駐車料金は減免の対象となります（例：2時間100円、3時間200円）

◆利用ご希望の方へ

なは市民活動支援センターの会議室等を利用ご希望の方は、「**利用登録**」が必要です（※利用審査があります）。
右のQRコードより利用方法をご確認ください。



◆施設利用料金

※1時間当たりの料金
※オンライン機材貸出可

	定員	面積	料金	冷房
会議室①	84人	約200㎡	1300円	400円
会議室②③	80人	約200㎡	1300円	400円
会議室③	30人	約100㎡	650円	200円
会議室④	8人	約40㎡	200円	100円
会議室⑤	12人	約30㎡	200円	100円
会議室⑥	12人	約30㎡	200円	100円
会議室⑦	5人	約30㎡	200円	100円
会議室⑧	20人	約45㎡	250円	100円
研修室①	16人	約30㎡	200円	100円
研修室②	16人	約30㎡	200円	100円

フードドライブ

フードドライブとは、ご家庭に賞味期限は切れていないが保管されたままになっている“もったいない食料品”を、なは市民活動支援センター利用登録団体・女性支援・子ども食堂を運営している団体へお渡しする活動です。
「もったいない」から「ありがとう」へ変えていきませんか？



- ### ◆注意いただきたいこと
- 1 賞味期限が明記され、かつ6か月以上あるもの
 - 2 常温で保存が可能なもの
 - 3 未開封で、中身に問題がないもの

◆寄付いただきたい食料品

お米、乾麺、缶詰、瓶詰、インスタント食品、レトルト食品、保存食（防災食）など



今月の開催日は、**10月10日 土**

@なは市民協働プラザ 1階ピロティー

毎月第2土曜日は、なは市民協働プラザ1階ピロティーでつながるマーケットを開催！
県内中から美味しいものやてしごとが銘苅に集まります。
家族・ご友人を連れてぜひご参加ください。

編集記

10月号をお手に取っていただき、ありがとうございます！
ギラギラと日差しが照り付ける沖縄の夏から、暑さは残りつつも、だんだんと日差しが柔らかくなり、吹く風も秋の気配を少しずつ運んできているような気がします。
暑さが落ち着きはじめるこの時期だからこそ、挑戦したいことや、これまで手を付けられなかったことに手をかけてみるなど、何か調べものをする時間にしてみてもいいかもしれません。その時には、なはセン図書をぜひご活用いただき、学びの一助となれば嬉しいです。（編集：高橋）